

○平成 25 年度 企画展示について
13 展示 総来室者数は、9706 人

<一覧>

- ・世界の写真展～であい～（3/29～4/14）
- ・美研 24 展（4/18～5/1）
- ・写真部新刊展（5/9～5/22）
- ・第 8 回原爆と広島展（5/27～6/9）
- ・広島を知る月間 2013—広島・竹原・東広島—（6/12～7/24）
- ・教科書で見たことある！
広島大学図書館とてきおきセレクション（8/5～9/18）
- ・世界も、自分も、変えるシゴト。展（10/2～10/16）
- ・丹下健三と広島（10/23～11/25）
- ・「作家梶山季之とヒロシマ」展（11/29～12/8）
- ・広島を歩く「都志見往来日記・同諸勝図」パネル展（1/10～1/29）
- ・アクリル水彩同好会「卒展」（2/4～2/18）

<詳細>

I. 世界の写真展～であい～

期間：3/29（金）～4/24（日） 3/30,31,4/6,7 休室 13 日間

主催：PeaCH（国際協力について「学び」「伝える」広島大学の学生団体） 来室人数：486 人

展示内容：

一般公募によって集められた「であい」をテーマにする世界各国の写真 50 点の展示。
写真と併せて撮影者についての情報も展示することで、その写真への理由や思いを伝える。

II. 美研 24 展

期間：4/18（木）～5/1（水） 4/29 休室 13 日間

主催：広島大学教育学部造形芸術系コース 平成 24 年度入学生 来室人数：655 人

展示内容：

広島大学教育学部 第四類 造形芸術系コース 平成 24 年度入学の学生が、入学してから一年間の授業で制作した作品と、個人個人が自由に作成した作品を展示。

III. 写真部新歓展 Expression

期間：5/9（木）～22（水） 14 日間

主催：広島大学写真部 来室人数：704 人

展示内容：

写真部の部員がそれぞれ、一番得意とする表現技法で自由に撮影した写真 40 点ほどを展示。

IV. 第 8 回原爆と戦争展～日本の現状もたらした第二次世界大戦の真実伝える～

期間：5/27（月）～6/9（日） 14 日間

主催：「原爆と峠三吉の詩」原爆展を成功させる広島の会 来室人数：641 人

展示内容：

パネル「原爆と峠三吉の詩」「第二次世界大戦の真実」「沖縄戦の真実」、市民提供の資料・体験記、

5/27～31 の 10 時～16 時に被爆体験を聴くコーナーを随時実施。

V. 広島を知る月間 2013 ー広島・竹原・東広島ー同時開催「サンフレッチェ広島展」

期間：6/12(水)～7/24(水)

6/12～23 広島市 6/27～7/9 竹原市 7/12～24 東広島市

共催：(公財)広島観光コンベンションビューロ、竹原市、(社)東広島観光協会、広島大学図書館

来室人数：広島市507人 竹原市996人 東広島市645人 計：2148人

展示内容：

3つの企画を連続して行う。広島市、広島市の観光地やイベントポスターなど。竹原市、竹原の歴史や観光地、特産品、アニメ「たまゆら」やかぐやパンダの紹介など。東広島市、東広島とスポーツを横軸に、東広島の観光を縦軸にパネル展示。

各期間中、広島県立図書館より広島大学図書館に貸出のサンフレッチェ広島関連グッズを展示するスペースを設置。

VI. オープンキャンパス企画展示 「教科書で見たことある！広島大学図書館とっておきセレクション」

期間：8/5(月)～9/18(水)

主催：広島大学図書館 来室人数：1915人(内オープンキャンパス時1229人)

展示内容：

伊勢物語、すゝめの夕かほ *8/7-8のみ展示。絵入源氏物語、グーテンベルク聖書(複製)、ホップズ(リヴァイヤサン)等原資料とその資料の掲載教科書の展示

VII. 世界も、自分も、変えるシゴト。展

期間：10/2(水)～16(水)

主催：JICA 中国 来室人数：430人

展示内容：

JICA フォトコンテスト写真パネル、青年海外協力隊活動写真パネル、世界の教科書・楽器・制服の展示 ほか 10/16(水) 広島大学大学会館大会議室にて、説明会も開催。

VIII. ホームカミングデー企画展示 広島大学中央図書館のルーツ「丹下健三と広島」

期間：10/23(水)～11/25(月)

主催：広島大学大学院工学研究科建築学専攻 来室人数：1123人(内ホームカミングデー時186人)

展示内容：

丹下健三が在学していた、旧制広島高等学校の資料閲覧室(広島大学中央図書館の前身)、正門、平面図や、建築家を志すに至ったフランスの建築家ル・コルビュジエの「ソヴィエト・パレス」を原寸大複写で展示し、1/2,500のソヴィエト・パレス及び平和記念公園構想の模型等。

IX. 文書館企画展示「梶山季之とヒロシマ」

期間：11/29(金)～12/8(日)

主催：広島大学文書館 来室人数：648人

展示内容：

梶山季之と被爆地ヒロシマの関わりを初公開の資料を交えながら紹介します。原民喜の詩碑建立、中国新聞社の金井利博記者との出会い、ヒロシマをテーマとした習作の執筆など、梶山季之の小説家としての原点を探ります。

X. 広島を歩く「都志見往来日記・同諸勝図」パネル展

期間：1/10（金）～29（水）

主催：広島市立中央図書館 来室人数：475人

展示内容：

『都志見往来日記・同諸勝図』は広島藩の絵師岡岷山が広島を歩いた際の道中記です。広島市内から北広島町までの旅の中で、江戸時代の広島の景勝の写生や見聞録が記されており、景勝全40図をデジタル画像処理された色鮮やかな写真パネルで関連資料とともに紹介。

XI. アクリル水彩同好会『卒展』

期間：2/4（火）～18（火） 2/11 休館 14日間

主催：広島大学アクリル水彩同好会 来室人数：481人

展示内容：

今年度卒業予定の約5名の絵画作品を展示し、その作品に使用された画材の展示や部員の活動の軌跡を紹介。